

竹原のシダレグリ自生地

下呂市の南部、竹原地区の山腹に約 80 本の栗の木が生い茂っています。この木々は珍しく、枝が曲がったり垂れ下がったりしています。木々のしだれの形はもともと突然変異の結果であり、木は自然に繁殖したものです。最古のものは約 300 年前のものと考えられています。

このような自然繁殖のシダレグリ自生地は全国に 3-4 か所しかないと言われています。これらには、隣県である長野県と東北地方の福島県の自生地も含まれます。竹原の栗の木は一年を通して美しいです。春にはピンク色の花が咲き、冬には葉の落ちた枝が彫刻のような形を現します。